

授業の概要

臨床の需要に応えられるだけの技術の研鑽と探究，歯科医師からの高度な指示や情報提供に対する理解力を身につける。歯周組織との関係，咬合，審美性などを考慮し機能的な歯冠修復物，冠，架橋義歯などの製作に関する知識と技術を学ぶ。

- 教科書：最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学（医歯薬出版）
- 参考資料：プリント配付
- 授業時間：金曜日 18:00～18:45
- オフィサー：小峰 太 (komine.futoshi@nihon-u.ac.jp) 水曜日 17:00～17:45
野川 博史 (nogawa.hiroshi@nihon-u.ac.jp) 水曜日 17:00～17:45
市川 裕美 (ichikawa.hiromi@nihon-u.ac.jp) 水曜日 17:00～17:45
- 成績評価：定期試験（80%），平常試験（20%）として評価する。平常試験後に解説を行いフィードバックする。
- 注意事項：講義時に教科書と配付プリントを持参すること。
- 授業方法：教科書に沿った内容のスライドとプリントを使用して講義を行う。第15回時に平常試験と解説を実施する。
- 準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を実施するので復習すること。
- 準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。
- 実務経験：小峰 太・野川博史：現在，日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座に在籍しており，生体と調和した補綴装置を製作する意義や方法について，歯科医師の立場から説明することで，理解の向上に繋がると考える。
市川 裕美：歯科技工士としての臨床経験をもとに，本教科で学ぶ内容や理論，手技を補綴装置の製作にどう生かせるかを歯科技工士の立場から，わかりやすく丁寧に教えていく。

| 授業日・担当者 | 講義項目 | 学修到達目標 |
|------------------|---|---|
| 第1回4月12日 小峰 太 | 1. クラウンの概要と種類 (教) pp. 5-10 2. ブリッジの概要と種類 (教) pp. 11-16 | <ul style="list-style-type: none"> ・クラウンの種類を列挙できる。 ・ブリッジの臨床的意義を説明できる。 ・ブリッジの構成要素を説明できる。 ・ブリッジの適応症と禁忌症を述べることができる。 ・ブリッジと有床義歯の利点・欠点を比較できる。 |
| 第2回4月19日 小峰 太 | 3. インプラント(人工歯根) 1) インプラントの概要 2) インプラントと生体 | <ul style="list-style-type: none"> ・インプラントの臨床的意義を説明できる。 ・インプラントの適応症と禁忌症を述べることができる。 ・インプラントの構造を説明できる。 ・インプラント治療における歯科技工 |

| 授業日・担当者 | 講義項目 | 学修到達目標 |
|-------------------|--|---|
| | 3)インプラント治療の流れと歯科技工(教) pp.165-167 | の位置づけを説明できる。 |
| 第3回4月26日 野川 博史 | 3.インプラント(人工歯根) 4)インプラントの種類 5)インプラントの咬合 (教) pp.167-171 | <ul style="list-style-type: none"> ・インプラントの種類を分類できる。 ・インプラントの上部構造と他の修復物との違いについて比較できる。 |
| 第4回5月10日 野川 博史 | 4. 試適・仮着・合着 5. インレー・アンレー修復法 直接法による修復(充填) ①窩洞形態・窩洞の構成要素 ②使用材料・操作法 | <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師が患者の口腔内で直接処置を行う充填について説明できる。 ・窩洞形態, 使用材料および操作法を述べることができる。 |
| 第5回5月17日 市川 裕美 | 6. インプラントの上部構造製作技工の注意点 (教) pp.171 | ・インプラントの上部構造体の製作法を説明できる。 |
| 第6回5月24日 市川 裕美 | 6. インプラントの上部構造製作技工の注意点 (教) pp.171 | ・インプラントの上部構造体の製作法を説明できる。 |
| 第7回5月31日 市川 裕美 | 7. 前装冠(コンポジットレジン前装冠) | <ul style="list-style-type: none"> ・前装部の形態について説明できる。 ・前装冠の製作方法について具体的に述べることができる。 |
| 第8回6月7日 市川 裕美 | 7. 前装冠(コンポジットレジン前装冠) | ・前装部の維持形態, 接着技法について説明できる。 |
| 第9回6月14日 市川 裕美 | 8. インレー・アンレー修復法 間接法による修復 ①窩洞形態・窩洞の構成要素 | <ul style="list-style-type: none"> ・間接法での合着による部分歯冠修復を説明できる。 ・窩洞形態, 窩洞の構成要素, 窩洞の分類を説明できる。 ・使用材料の特徴および修復物の製作 |

| 授業日・担当者 | 講義項目 | 学修到達目標 |
|---------------------|---|--|
| | ②窩洞の分類 (教) pp. 115-121 | 法と注意点を説明できる。 |
| 第10回 6月21日 市川 裕美 | 9. 支台築造 (教) pp. 52-55 | <ul style="list-style-type: none"> • 支台築造の意義と目的を説明できる。 • 支台築造の製作法を説明できる。 • 種類と使用材料を説明できる。 |
| 第11回 6月28日 市川 裕美 | 10. テンポラリーク ラウン・ブリッジ (教) pp. 58-59 | <ul style="list-style-type: none"> • 意義と目的について説明できる。 • 製作法を述べることができる。 • 種類と使用材料を説明できる。 |
| 第12回 7月5日 市川 裕美 | 11. ブリッジ (教) pp. 12-15 | <ul style="list-style-type: none"> • 固定性, 半固定性, 可撤性のブリッジに 適応される支台装置を説明できる。 • 各種ブリッジの製作方法を比較できる。 |
| 第13回 7月12日 市川 裕美 | 11. ブリッジ 1)ブリッジの支台装置 2)ポンティックの種類と適応 (教) pp. 147-152 | <ul style="list-style-type: none"> • 支台歯の配置と設計を説明できる。 • 支台装置の種類と設計を説明できる。 • ポンティックの種類, 特徴および適応を 述べることができる。 |
| 第14回 7月19日 市川 裕美 | 12. ブリッジの設計 3)ブリッジの連結部 4)固定性ブリッジの 連結法 (教) pp. 152-154 | <ul style="list-style-type: none"> • ブリッジの種類とポンティックの選 択を説明できる。 • 連結部の形態と要件を説明できる。 • ワンピースキャスト法による連結と, 鑲付け法による連結法を説明できる。 |
| 第15回 7月26日 市川 裕美 | 13. 前期のまとめ 平常試験・解説 | <ul style="list-style-type: none"> • 第1回から第14回までの講義内容に ついて理解度を確認する。 • 理解度の低い箇所について知識を深 めることができる。 |